

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 1 肥料	植物がよく育つためには、日光や水、空気のほかに肥料をあたえる必要があります。
問2	答え 1 発芽前の種子	まだ芽が出ていない状態の種子のことを「発芽前の種子」と呼びます。
問3	答え 1 発芽に空気が必要か調べる実験	水と温度の条件を同じにして、空気の有無だけを変えて比べることで、発芽に空気が必要かどうかを確かめることができます。
問4	答え 1 葉の数が少なくなり、くきがあまりのびなくなります。	肥料をあたえないと、植物は葉の数が少なくなり、くきがあまりのびなくなってしまいます。
問5	答え 1 適当な温度	種子が発芽するためには、冷たすぎず、適当な温度が必要です。
問6	答え 1 水に溶けた状態	植物が大きく丈夫に成長するために必要な肥料（養分）は、水に溶けた状態で取り入れられます。
問7	答え 1 どちらの種子も発芽する	肥料は発芽に必要な条件ではないため、肥料をあたえた種子も、あたえなかった種子も、どちらも発芽します。
問8	答え 2 発芽や成長のために使われて少なくなる。	種子の中のでんぷんは、発芽して根・くき・葉が育つにつれて、発芽や成長のために使われて少なくなります。
問9	答え 1 一方には水をあたえ、もう一方には水をあたえない。	水が必要かどうかを調べるためには、水があるかないかという条件だけを変えて、他の条件はすべて同じにして比べます。
問10	答え 1 どちらの箱の種子も発芽する	光は発芽に必要な条件ではないため、光を当てた種子も、光を当てない暗い場所に置いた種子も、どちらも発芽します。
問11	答え 1 日光と肥料（養分）	発芽した植物が大きく丈夫に成長するためには、日光や、水に溶けた肥料（養分）が必要です。
問12	答え 4 空気と温度の条件を同じにして、水を与えるものと与えないものを比べて調べる。	水が必要かを調べるためには、水以外の条件（空気と温度）を同じにして、水を与える・与えないという違いだけをつくって比較します。
問13	答え 1 冷たすぎるため、発芽しない。	種子が発芽するためには冷たすぎないことが必要のため、冷たすぎる場所では発芽しません。